

## 2020年7-9月期GDP速報（1次速報値）

### ～ ポイント解説 ～

令和2年11月16日

内閣府経済社会総合研究所

国民経済計算部

#### [ 1 ] GDP成長率

2020年7-9月期のGDP成長率（季節調整済前期比）は、1次速報値において、実質は5.0%（年率21.4%）と4四半期ぶりのプラス成長となった。名目は5.2%（年率22.7%）となった。

#### [ 2 ] GDPの内外需別の寄与度

実質GDP成長率（季節調整済前期比）に対する内外需別の寄与度を見ると、国内需要（内需）は2.1%と4四半期ぶりのプラス寄与となった。財貨・サービスの純輸出（外需）は2.9%と3四半期ぶりのプラス寄与となった。

#### [ 3 ] 需要項目別の動向<sup>1</sup>

##### （1）民間需要の動向

民間最終消費支出については、実質4.7%増と4四半期ぶりの増加となった。外食、娯楽サービス、自動車、宿泊等が増加に寄与したとみられる。

民間住宅については、実質7.9%と4四半期連続の減少となった。

民間企業設備については、実質3.4%と2四半期連続の減少となった。供給側推計の基礎となる総固定資本形成の動きを見ると、建設、生産用機械等への支出が減少に寄与したとみられる。

民間在庫変動のGDP寄与度については、実質0.2%となった。実質の在庫残高の増加幅が2020年4-6月期から縮小（2020年4-6月期2.2兆円、2020年7-9月期1.2兆円）し、2020年4-6月期と比べた増加幅の縮小分（1.1兆円）がGDP成長率に対して寄与した<sup>2</sup>。

<sup>1</sup> 季節調整済前期比について解説。

<sup>2</sup> 実額はいずれも実質季節調整値（年率表示）。

## ( 2 ) 公的需要の動向

政府最終消費支出については、実質 2.2%増と 2 四半期ぶりの増加となった。医療費等が増加に寄与したとみられる。

公的固定資本形成については、実質 0.4%増と 2 四半期連続の増加となった。

公的在庫変動の GDP 寄与度は、実質 0.0%となった。

## ( 3 ) 輸出入の動向

財貨・サービスの輸出については、実質 7.0%増と 3 四半期ぶりの増加となった。自動車等が増加に寄与したとみられる。

財貨・サービスの輸入については、実質 9.8%と 2 四半期ぶりの減少となった。原油・天然ガス等が減少に寄与したとみられる。

## [ 4 ] デフレーターの動向

GDP デフレーターについては、季節調整済前期比で 0.3%となった。国内需要デフレーターは前期比 0.6%となった。外需デフレーターはマイナスに寄与した。

GDP デフレーターの前年同期比については、1.1%となった。

## [ 5 ] 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う対応について

2020 年 7-9 月期については、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、後半にかけて経済活動に持ち直しの動きもみられることから、本年 9 月については、通常と異なる変動パターンとなっている可能性があること等から、従来の補外方法ではとらえきれない基礎統計の動きも予見される。このため、1 次速報における供給側推計の 9 月の補外方法を変更している。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き、推計する系列が過去の動向と大きく異なる動きが予見される中、季節変動や不規則変動をより適切に推計するため、2020 年 7-9 月期において、民需・外需の全ての系列に加えて、政府最終消費支出（個別消費）を対象として加法型異常値処理のダミー変数を設定した。

[ 参考 ]

[ 1 ] G N I ( 国民総所得 ) の動向

2020 年 7-9 月期の実質 G N I 成長率は、季節調整済前期比で 4.4% ( 年率 18.9% ) と 4 四半期ぶりのプラスとなった<sup>3</sup>。海外からの実質純所得 ( 寄与度 0.2% )、交易利得 ( 寄与度 0.1% ) がマイナス寄与となった。名目 G N I 成長率については、季節調整済前期比で 4.9% ( 年率 21.1% ) と 4 四半期ぶりのプラスとなった<sup>4</sup>。

[ 2 ] 雇用者報酬の動向

2020 年 7-9 月期の名目雇用者報酬は、前年同期比で 2.2%、季節調整済前期比で 0.7% 増となった。前年同期比については、雇用者数、一人当たり賃金がともに減少に寄与した。実質雇用者報酬については、前年同期比で 3.0%、季節調整済前期比で 0.5% 増となった<sup>5</sup>。

( 以上 )

---

<sup>3</sup> 実質 G N I = 実質 G D P + 海外からの実質純所得 + 交易利得

<sup>4</sup> 名目 G N I = 名目 G D P + 海外からの純所得

<sup>5</sup> 実質雇用者報酬は名目雇用者報酬を家計最終消費支出( 除く持ち家の帰属家賃及び FISIM ) デフレーターで除して算出した参考値。